

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【公開番号】特開2005-160856(P2005-160856A)

【公開日】平成17年6月23日(2005.6.23)

【年通号数】公開・登録公報2005-024

【出願番号】特願2003-406093(P2003-406093)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 2 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月26日(2006.12.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

絵柄の変動表示による表示演出を行う表示手段を備えた遊技機において、前記表示手段は、2次元画像または視覚を通じて擬似的に認識できる3次元画像の少なくともいずれかの絵柄を表示する表示部と、

前記表示部の少なくとも一部の領域に、前記3次元画像を表示できるように表示画像を切り換える画像切換手段とから構成されたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機において、

前記画像切換手段は、2次元アレイ状に配列された透過形液晶表示素子を有し、画素単位で微細線状の非透過部と微細線状の透過部とを交互に形成するように前記透過形液晶素子のオン・オフの切り換えを行う切換駆動機構を備えた視差バリア発生部と、

前記表示部の少なくとも一部に、視覚を通じて擬似的に認識できる3次元画像を表示するように前記視差バリア発生部の切換駆動部を制御する切換駆動制御部とから構成されていることを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項2に記載の遊技機において、

前記表示手段は、遊技者の視点側から表示部、切換手段の順に配備したことを特徴とする遊技機。

【請求項4】

請求項3に記載の遊技機において、

前記切換手段の背面側にバックライトを備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項5】

請求項2に記載の遊技機において、

前記表示手段は、遊技者の視点側から切換手段、表示部の順に配備したことを特徴とする遊技機。

【請求項6】

請求項1から請求項5のいずれか一つに記載の遊技機において、

前記表示手段に表示される変動表示の表示演出を行うための画像データの送信を行う表

示制御手段を備え、

前記切換駆動制御手段は、前記表示手段に表示される絵柄が、2次元画像と擬似的な3次元画像から構成されたものであるとき、前記表示制御手段からの画像データに基づいて、表示演出の進行にともなって2次元面画と擬似的な3次元画像とが同調しながら変動表示するように前記視差バリア発生部を駆動制御することを特徴とする遊技機。